

しなののうた

純白な石灰棚に空の青
足湯に浸かり癒されゆきぬ



杉田小百合

しなののうた

雲の上歩むがごとき心地して綿の城とう由来を解す

杉田小百合



しなののうた

トルコ語の隣に並ぶ日本語のエフェソスの本目に飛びこみぬ



杉田小百合

しなののうた

時を越え栄華の遺跡巡りつつオスマントルコの巨大を覚ゆ

杉田小百合



しなののうた

図書館と通ずる地下の娼婦街垣間見るのがトルコ帝国



杉田小百合